

ポケットティッシュとともに周知文書を配布



周知文書 (表面)

周知文書 (裏面)

平成 30 年 5 月 仙台市交通局

市バスをご利用の皆様へ

交通局は市バスの経営改善に取り組んでいます

日頃より市バスをご利用くださいましてまことにありがとうございます。
市バスは乗客数の減少などから厳しい経営状況にあります。交通局は、市バスを将来にわたって地域の皆様の手として維持するため、経営改善に取り組んでいます。現在の経営状況と取組み内容をお知らせします。

1. 市バスの現状

(1) 乗客数と乗車料収入

図1は、市バスの乗客数と乗車料収入の推移を示しています。
乗客数は、昭和55年度をピークとして、現在は3分の1程度まで減っています。乗車料収入もこの20年間で半分程度に減っています。
収入が減少する中においても、交通局は、費用の削減を中心に様々な取組みを実施することで、バスの便数をできるだけ減らさないようにしてきました。

これまでの主な取組み

- バス乗務員の給与引き下げ (平成10年度～)
- バス運転業務等の民間企業への委託 (平成18年度～)
- ラッピング広告バス導入 (平成11年度～)

しかしながら、費用の削減も限界となり、平成28年度は全路線が赤字となりました。

(2) 運転系統数

図2は、市バスの運転系統数を他の指定都市と比較したものです。(※)
本市は市域が広いことや、市民の皆様からの経由地の追加などのご要望にできる限りお応えしてきたことなどから、系統数(230本)が、他都市平均(108本)の2倍以上となっています。

※全国20の指定都市のうち、現在公営バスを運営しているのは7都市。

2. 市バスの経営課題

図3は、市バスが1km走行した場合の収入と費用を、他の指定都市の公営バスと比較したものです。
本市の費用(609円)は、他都市(619円)とほぼ同様ですが、本市は長い走行距離のわりにはお客様のご利用が少ないため、収入が大幅に少なくなっています(378円)。

3. 「経営改善計画」に基づく具体的な取組み

今後も少子高齢化の進展などにより、市バスを取り巻く環境は一層厳しさを増していきます。このような中でも引き続き市バスを使っていけるように、「仙台市自動車運送事業経営改善計画(平成29年度～平成33年度)」に基づき、以下のような取組みを進めていきます。

①乗客数に応じた便数調整

- ・運行効率改善のため、乗客数に応じて運行便数を調整することとし、計画期間中に市バスの運行便数を段階的に約5%削減します。
- ・平成30年4月のダイヤ改正では、そのうち約半分を実施しました。

②運賃制度の見直し

- ・増収に向けて、一部の運賃制度の見直しを検討しています。

4. 今後に向けて

平成30年度は、安全運行を第一としつつ、一人でも多くのお客様に利用いただけるよう、快適なサービスの提供に力を入れていきます。
ノンステップバスを増やすなど、誰もがバスを利用しやすい環境をつくっていくほか、乗務員の接遇レベルを上げるための研修も引き続き行います。
今後も、費用削減や増客・増収の取組み、更なる資産の有効活用などを鋭意検討・実施していきます。

市バスは市民の皆様にご利用いただくことによって成り立つものであり、経営改善の取組みは、皆様のご理解を得て進めることが必要不可欠だと考えています。詳しくは交通局ホームページに掲載しておりますほか、市政だよりでもお知らせしてまいります。
引き続き市バスをご利用くださいますようお願い申し上げます。

お問い合わせ 交通局経営企画課 022-712-8356 交通局HP 経営改善計画等はホームページでもご覧いただけます http://www.katsui.city.sendai.jp